

第 31 回 衛星開発・実証小委員会  
議事要旨

1. 日時

令和 7 年 1 月 22 日（水） 9 : 00 ~ 11 : 30

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室及びオンライン

3. 資料

資料 1 宇宙開発利用加速化戦略プログラムに係る戦略プロジェクトの評価等について

資料 2 宇宙開発利用加速化戦略プログラムに係る戦略プロジェクトの選定について

資料 3 JAXA による今後の衛星地球観測の方向性について

資料 4 官民連携による光学観測事業について

資料 5 官民連携による光学観測事業の進捗状況

資料 6 宇宙技術戦略(衛星、分野共通技術) 令和 6 年度改訂のポイント案

参考資料 1 宇宙開発利用加速化戦略プログラム 戦略プロジェクト概要

4. 議事要旨

- (1) 宇宙開発利用加速化戦略(スターダスト)プログラムの戦略プロジェクトの進捗報告及び評価について宇宙開発利用加速化戦略プログラム(スターダストプログラム)に係る戦略プロジェクトの評価・選定
- 参考資料 1 に示す戦略プロジェクトについて審議した。資料 1 の各委員からの意見を踏まえた評価は妥当と判断し、資料 2 の通りプロジェクト選定した。
- (2) JAXA による今後の衛星地球観測の方向性について
- 資料 3 に基づいて、文科省から、JAXA による今後の衛星地球観測の方向性について報告があった。
  - 委員からの意見は以下の通り。
    - ・今後の方向性について良い検討を行っている。
    - ・従来の衛星毎のプロジェクトベースでのシーズ発想から、課題に基づく戦略的・複合的なアプローチに立脚したプログラム形成・体制整備へと転換することは良いことだが、これを基本としつつも、バランス良く両方のアプローチを取りながらイノベーション創出を進めることが大事。
- (3) 官民連携による光学観測事業について
- 資料 4、5 に基づいて、文科省及び JAXA から官民連携による光学観測事業について報告があった。
  - 委員からの意見は以下の通り。
    - ・小型光学衛星による観測システム事業について、非常に難しい取組であると思うが、実現可能とするように引き続き進めてもらいたい。
    - ・民間が主導して商業化を見据えた衛星開発を行っていくことと JAXA が継続して革新的な要素技術の開発を主導していくことはどちらも重要である。

(4) 宇宙技術戦略（衛星、分野共通技術） 改訂案

- 資料6に基づいて、宇宙技術戦略（衛星、分野共通技術）改訂のポイント案を提示。
- 委員からの意見は以下の通り。
  - ・全般的に最新の情報に基づいてアップデートしており、要点を押えた更新となっている。
  - ・改訂ポイントの技術を含めて、実証機会を増やして信頼性を高めていくことが重要。

以上